

## スズキ、新型船外機「DF175A」、「DF150A」を ジェノバ国際ボートショーで発表



「DF175A」

「DF150A」

スズキ株式会社は、2018年9月20日～25日にイタリア・ジェノバで開催されている「ジェノバ国際ボートショー」にて、全面改良した大型の新型船外機「DF175A」、「DF150A」を発表した。

「DF175A」、「DF150A」は、高圧縮比、リーンバーン（希薄燃焼）、セミダイレクト・エアインテークなどの先進技術を採用し、走行性能と燃費性能を向上させた。大型のレジャーボートなどに搭載する船外機をより高性能に刷新することで、大型船外機のラインアップを強化する。

### ●「DF175A」、「DF150A」の主な特長

- ・ 「DF200A」と共通の排気量2,867cm<sup>3</sup>4ストローク直列4気筒エンジンに、高圧縮比、「リーンバーン制御」、「セミダイレクト・エアインテーク」などの先進技術を採用。
- ・ 従来モデルと比較して、DF175Aは最大トルクを2.7%、燃費を最大で14%向上。DF150Aは最大トルクを3.1%、燃費を最大で7%向上。
- ・ ガソリンに混入した水分を検知しエンジンを故障から守る「水分検知システム」を搭載。
- ・ エンジンが始動するまでキーを回し続ける必要がない「イージースタート」、低速で安定した走行を維持できる「トロールモード」など、多彩な機能に対応し利便性を向上。

「DF175A」、「DF150A」は、日本の湖西工場では9月から生産を開始し、北米をはじめ、欧州、日本など世界各国で順次発売していく。

ジェノバ国際ボートショーでは、新たに白色モデルを追加した小型船外機など、「DF2.5」から「DF350A」までのフルラインアップを展示する。また、船外機メーカーでは最大\*となる16インチ画面を備えた新開発の多機能ディスプレイ「スズキマルチファンクションディスプレイ」を初公開する。